

評価委員会が行う事業年度評価の方法について

1 第1期中期目標期間における評価との変更点等

なし

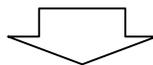
《変更なしとした理由》

◆先行7団体の見直し状況は、次のとおり（詳細別紙）

区 分	団体数	団体名(大学名)
基準を厳しく変更	1	秋田県(国際教養)
基準を緩和	0	
変更なし(変更点が標語の見直しのみのもを含む。)	4	岩手県(岩手県立) 横浜市(横浜市立) 北九州市(北九州市立) 長崎県(長崎県立)
評価方式の変更(4段階評価→5段階評価)	1	東京都(首都大学東京)
評価範囲の変更(教育研究の一部を評価対象に追加)	1	大阪府(大阪府立)

◆他県の評価基準と対比した場合、細部の違いはあるものの、本県の評価が大きく乖離していると認められる状態にない。

◆本県の他の地方独立行政法人(山口県立病院機構、山口県産業技術センター)も本学と同じ評価方法を採用している。



以上の状況を勘案し、評価の一貫性の観点も踏まえると、変更する状況にはない。

2 評価方法の要点(第1期に同じ)

(1) 評価の手法

法人の自己評価を活用する間接評価《実効性、効率性》

(2) 評価基準

各事業年度における中期計画の進捗度を5段階評価

*評価基準は、法人の自己評価実施方針を採用《一貫性、効率性、客観性》

(3) 評価結果の決定手続

評価結果の決定に先立ち、法人に意見申立の機会を付与《客観性》

(4) 会議の公開

評価の実施に係る会議は公開《透明性》

3 評価結果の導き方（第1期に同じ）

最小単位の評点の平均値を一つの目安に、5つの大項目ごとの評価結果、全体の評価結果を順次導く。

○ 年度計画の最小単位ごとの達成状況（中期計画の最小単位ごとの達成状況）を5段階評価（5, 4, 3, 2, 1） *点数化



○ 5つの大項目ごとの中期計画の進捗状況（5つの大項目ごとの中期目標の達成状況）を5段階評価（s, a, b, c, d）

【大項目】 ①教育研究 ②業務運営 ③財務 ④点検評価 ⑤その他



*加重平均値

○ 中期計画全体の進捗状況（中期目標全体の達成状況）を5段階評価（S, A, B, C, D）

4 評価実施の際の視点（第1期に同じ）

1. 自己評価結果の適切性、妥当性の検証

- (1) 自己評価は定められた評価方法に従って行われているか
- (2) 自己評価の結果と異なる判断をすべき事項はあるか

2. 法人の業務運営の特徴等の抽出

- (1) 法人の業務運営の特徴、長所、問題点は何か
- (2) 法人の業務の実績と計画との間に著しい乖離が継続的に生じている事項はあるか
- (3) 法人の財政状態や運営状況に関し、今後の業務の適正かつ確実な実施に当たり特に重要な影響を及ぼす事象が存在するか

3. 勧告事項の抽出

法人に対し業務運営の改善等を義務的に求めるべき事項はあるか 等

先行団体における第2期中期目標期間での評価基準の見直し状況

県名	大学名	第1期	第2期
岩手県	岩手県立大学	AA：特筆すべき進行状況 A：計画どおり（計画達成） B：概ね計画どおり（達成度80%以上100%未満） C：やや遅れ（達成度60%以上80%未満） D：大幅な改善要（達成度60%未満）	(同左)
秋田県	国際教養大学	S：特に優れた実績 A：順調（達成度90%以上） B：概ね順調（達成度70%以上90%未満） C：不十分（達成度70%未満） D：大幅な改善要	S：特に優れた実績 A：計画どおり（達成度100%以上） B：概ね計画どおり（達成度80%以上100%未満） C：不十分（達成度80%未満） D：大幅な改善要
東京都	首都大学東京	1：順調に実施 2：概ね順調に実施 3：不十分 4：大幅な見直し、改善が必要	S：大幅に上回る A：上回る B：ほぼ100%計画どおり C：下回る D：大幅に下回る 等
横浜市	横浜市立大学	A：上回って実施 B：順調に実施 C：不十分 D：実施していない	(同左)

県名	大学名	第1期	第2期
大阪府	大阪府立大学	★「教育研究」については評価を行わず、進捗状況の確認に止める。	★「教育研究」のうち「地域貢献等」及び「国際化」に関する項目については、評価を実施
		S：特筆すべき進捗状況 A：目標どおり（全てⅢ～Ⅴ * 5段階評定） B：おおむね目標どおり（Ⅲ～Ⅴが9割以上） C：やや遅れ（Ⅲ～Ⅴが9割未満） D：重大な改善事項あり	(同左)
北九州市	北九州市立大学	A：特筆すべき進捗状況 B：計画どおり（全てⅢ～Ⅳ * 4段階評定） C：概ね計画どおり（Ⅲ～Ⅳが9割以上） D：やや遅れ（Ⅲ～Ⅳが9割未満） E：重大な改善事項あり	S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり（全てⅢ～Ⅳ * 4段階評定） B：概ね計画どおり（Ⅲ～Ⅳが9割以上） C：やや遅れ（Ⅲ～Ⅳが9割未満） D：重大な改善事項あり
長崎県	長崎県立大学	特筆すべき進行状況 計画どおり（全てⅢ～Ⅳ * 4段階評定） 概ね計画どおり（Ⅲ～Ⅳが9割以上） やや遅れ（Ⅲ～Ⅳが9割未満） 重大な改善事項あり	(同左)

《対比 本県の基準》

山口県	山口県立大学	S：優れて順調（最小項目ごとの評点の加重平均値が4.3以上） A：順調（最小項目ごとの評点の加重平均値が3.5以上4.2以下） B：概ね順調（最小項目ごとの評点の加重平均値が2.7以上3.4以下） C：やや遅れ（最小項目ごとの評点の加重平均値が1.9以上2.6以下） D：遅れ（最小項目ごとの評点の加重平均値が1.8以下）	*達成度9割以上
-----	--------	---	----------